

カタバミ科 カタバミ属

# カタバミ (傍食)

*Oxalis corniculata* L.

## 自生環境

道ばた、公園、庭の隅など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

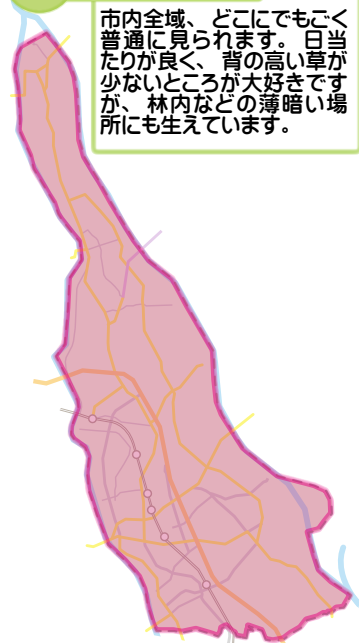
身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

## 特徴

- ☆ 道ばたや庭、公園などの日当たりの良い場所にごく普通に生え、地面を覆うように広がっていきます。小さなハート形の葉が3枚ずつつきます。花は黄色で花弁は5枚あります。
- ☆ 熟した果実は、軽く触れただけで勢いよくパチンと弾け、あたりにタネを撒き散らします。また、タネには「アリの好物」がついていて、これを選び賃として提供することで、アリにタネを遠くまで運んでもらっています。
- ☆ 葉は山菜として利用できますが、シュウ酸を含むためにかじると酸味を感じます。
- ☆ この仲間は総称してオキザリスと呼ばれ、さまざまな種類が観賞用に栽培されます。カタバミは日本のオキザリスです。

## 市内の分布状況

市内全域、どこにでもごく普通に見られます。日当たりが良く、背の高い草が少ないところが大好きですが、林内などの薄暗い場所にも生えています。



## 赤紫色のカタバミ

典型的なカタバミの葉は緑色ですが、茎や葉の色が赤紫色の株もよく見られます。これをアカカタバミと言います。また、緑色と赤紫色を足して2で割ったような色合いの葉をつける株もあり、これをウスアカカタバミと言います。

アカカタバミの花は黄色ですが、「のど」の部分に赤い輪のような模様ができる傾向があります。



茎は地面を這うことが多い。

ハート形の葉が3枚ずつついている。



熟した果実はさわると弾けて中からタネが勢いよく飛び出す。



果実は先がふんととがった形。



ウスアカカタバミ

品種



品種

アカカタバミ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

